

Hermite 熱方程式の解の漸近展開

香川 智修（大阪電気通信大学）

講演要旨

1990 年頃松澤氏によって、緩増加超関数を熱方程式の解で特徴付ける方法について紹介された。この方法は、熱核の方法と呼ばれ、関数を熱核と畳み込むことで得られる熱方程式の解の増大度によって、入る関数空間を判定できるものである。さらに、熱方程式を Hermite 熱方程式に応用した場合の特徴付けについても紹介された。吉野氏は熱核の方法を応用し、解の漸近展開を紹介した。本講演では緩増加超関数を初期値解に持つ Hermite 熱方程式の解の漸近展開の構成について紹介する。